様式第 1-4（2021.6.30 版）　　単機関研究用

原発性肺癌に対する区域切除後局所再発率の低下を目指した適応選択と手術手技の確立

１．研究の対象

2000 年 1 月～2022 年 12 月に肺癌に対して肺の手術を受けられた方

２．研究目的・方法

本邦では近年肺癌手術例に占める末梢小型肺癌の割合が多く、末梢小型肺癌を対象とした縮小手術（肺を従来よりも小さく切り取る手術）の妥当性が検討されてきました。2022 年に大規模な臨床試験の結果が報告され、末梢小型肺癌に対して症例によっては肺葉切除よりも区域切除が望ましいことが示されました。しかし区域切除は肺葉切除よりも局所再発(断端再発・肺門・縦隔リンパ節再発、悪性胸水)が多いという結果であり、区域切除において局所再発率の低下が課題となりました。そこで、本研究は、局所再発率を低下させるために適切な適応症例の選択と癌を遺残させない手術手技の確立を目的としています。

３．研究に用いる試料・情報の種類

当院において 2000 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの間に原発性肺癌に対して肺切除術を受けた患者さんの入院および外来カルテの、患者基本情報（年齢、性別）、併存症（肺癌以外の病気の状況など）、肺がんの状態（がんや腫瘍の種類、病期、治療内容など）、手術内容（切除方法、合併症、併用療法など）、再発の状況（有無、発見日、再発部位、再発時治療）および予後（生存）情報などを用いて、区域切除後の局所再発の危険因子などを調査します。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

研究責任者：神﨑　隆
大阪国際がんセンター　呼吸器外科
住所：〒５４１－８５６７　大阪市中央区大手前３－１－６９
電話：０６－６９４５－１１８１